

里山砂防ワークショップだより

◆ ワークショップの目的 ◆

土岐川流域において、災害に強いより安全で豊かな都市山麓をつくりあげていくため「グリーンベルト事業」が実施されています。

この事業は、地域にお住まいの方々にご協力いただき、活動が広がってきています。

今回、里山砂防事業を活用し、これら活動をより積極的に推進するための基盤整備を実施し、これまで以上に災害に強い良好な山腹となることを目指します。

「里山砂防ワークショップ」は、小学校関係者や地域のみなさまのご意見を伺い、里山砂防事業の計画（案）を策定することを目的として開催するものです。ワークショップは全2回の開催を予定しています。

◆ ワークショップメンバー ◆

市之倉小学校関係者や市之倉地区の森づくりで活動されている地域の方々、砂防・土木事務所の代表の方に、お集まりいただいています。（敬称略）

所 属	役 職	氏 名
市之倉小学校	校長	矢野 智
	教頭	大橋 弘
市之倉小学校	PTA会長	柴田 篤
	PTA厚生委員長 (やすらぎ部会長)	河野 千春
市之倉の森づくり部会	部会長	松浦 文雄
どんぐりの森づくり部会	会長	春田 紀
おりべの森づくり部会	会長	杉浦 洋二
筒小屋の森づくり部会	会長	山下 武夫
多治見市役所	建設総務課	中島 智明
	教育総務課主査	吉田 寛
岐阜県多治見土木事務所	河川課課長補佐	武藤 良幸
多治見砂防国道事務所	副所長	山口 一臣

◆ やすらぎの森(岐阜県多治見市 市之倉地区) ◆



◆ ワークショップの流れ ◆

第1回ワークショップ (H21.7.22)

第2回ワークショップ (H21.9.16)

里山砂防事業の計画（案）

事業実施

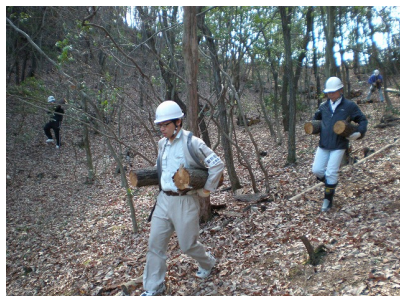
【現在の森】



【将来の森】



グリーンベルト事業
の活動状況





第1回 里山砂防ワークショップの内容



平成21年7月22日（水） 多治見市立市之倉小学校図書室にて

テーマ 「やすらぎの森の現況と今後の整備について」

- 第1回ワークショップでは、ワークショップの主旨、やすらぎの森のこれまでの経緯・現況についての説明があった後、森の目標像や今後の整備（必要な基盤整備、樹林整備）について話し合いをしました。
- ワークショップメンバー間で、活発な意見交換が行われました（下写真及び右表 参照）。



ワークショップメンバーの方から、
このような意見が集まりました！

第1回ワークショップ結果（メンバーからの意見・要望）

目標とする森のイメージ		今の森の景観は残したい
		カブトムシなど子供たちが虫捕りできるような森
今後の整備について	樹林整備 内容	倒木・伐採木の搬出が必要である
		子供たちが遊べるように、また、危なくないように、倒木の処理が必要である
		西側の尾根部の立枯木の伐採が必要であるが、人力での伐採・搬出は難しい
		危険な作業は専門家をお願いしたい
	基盤整備 内容	作業道があると整備が進む（森の東側の砂防えん堤から上流まで）
		車の通れる作業道がよい
		今の森の景観を壊さないような作業道がよい
		作業道の整備は、行政をお願いしたい
	作業の進め方	現地を確認してから、今後の整備について考える
		面的、時間的に区切って整備作業を進めていった方がよい
		作業道ができる前に、進められる作業は進めたい
		学校やPTAだけでは整備が難しい。地域の方々の協力をいただきたい
地域の協力について	整備のお手伝いは可能である（筒小屋の森づくり部会、おりべの森づくり部会）。要請してもらえると、手伝いやすい	

第2回 里山砂防ワークショップの予定

平成21年9月16日（水） 現地および多治見市立市之倉小学校図書室にて

テーマ

「やすらぎの森現地確認、
里山砂防事業計画の検討」

- メンバー全員で、やすらぎの森の現状を現地確認し、「どこでどのような基盤整備、樹林整備が必要か」などについて具体的に検討し、里山砂防事業計画（案）としてまとめる予定です。
- 第2回ワークショップの結果は、次号のワークショップにより、お知らせします！

国土交通省 中部地方整備局 多治見砂防国道事務所

〒507-0804

岐阜県多治見市坂上町 6-34

工務第一課

TEL：0572-25-8020(代表)

FAX：0572-25-7994

URL：<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>

E-mail：tajimi@cbr.mlit.go.jp

